

# 令和元年度 桑名市主要予算

## 令和4年度の運営開始に向け、福祉ヴィレッジ構想が加速!

### 多世代共生型複合施設の整備計画について

現在、桑名市は高齢者や障がい者、子どもなどに通所や入所、相談などの福祉サービスを包括的に提供する「福祉ヴィレッジ」(多世代共生型複合施設)整備計画を進めています。

福祉ヴィレッジ構想は、子どもから高齢者の全ての世代の皆さんが障害の有無にかかわらず健康で生き生きと生活することのできる仕組みを構築しようとするものです。

整備に当たっては、民間のノウハウや資金などを活用する公民連携の手法を用い、令和4年度の運営開始に向け、星見ヶ丘の堂ヶ峰公園用地に建設される予定で、既存4施設の養護老人ホーム、児童発達支援事業所、保育所、母子生活支援施設を一体化した上で市と基本協定を締結した民間事業者により運営される予定です。



多世代共生型施設 東方向から



多世代共生型施設 南東方向から

## 桑名市の防災について

### 長島・伊曾島地区に津波避難誘導デッキを整備

今から60年前の伊勢湾台風において、当時の長島町では河川堤防が15箇所、延長約3,400mにわたって決壊し、383名の尊い命が犠牲となりました。特に、付近に高台のない長島では、南部の伊曾島地区を中心に壊滅的な被害を受けました。

また昨年は台風19号など全国各地で河川が氾濫して未曾有の大災害となりました。伊勢湾台風以降、さまざまな対策が取られているにもかかわらず地球の温暖化によって災害が年々激化しています。

水害のみならず、この地域で発生が危惧されているのが地震災害です。特に南海トラフ巨大地震については、今後30年以内に70~80%の確率で

発生するというので、現在急ピッチで河川堤防、海岸堤防の液状化対策工事が行われています。

地震の発生から津波の到達まで約90分あるため、避難行動としては浸水区域から桑名の高台などへ避難していただくのが望ましいのですが、避難できない方も一定数おられることも事実です。そこで今回、伊曾島地区において命山に代わり、一時的な避難施設として、津波避難誘導デッキを堤防道路に隣接する旧伊曾島幼稚園の場所に整備することとしました。



参考施設 高知県南国市津波避難タワー

#### ●施設整備方針(案)

整備場所	桑名市長島町白鷺1-2(旧伊曾島幼稚園)	構造	PC構造
面積	約1,200㎡	収容人数	最大約1,500人
種類	津波避難誘導デッキ(タワー型)	その他	防風シート・備蓄倉庫などを配備

#### ●整備スケジュール(案)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
測量調査	→			
設計業務		→		
施工			→	

## 桑名市の「空き家」について

### 桑名市の「空き家」をめぐる状況

令和元年の調査では、桑名市内の空き家は2,197軒であり、いまのところ4年前の調査から比べてほぼ横ばいになっています。空き家が発生すると、防火・防犯の問題や老朽化などによる環境衛生など、様々な問題を引き起こすことになるため、空き家への対策が急がれています。



#### 空き家の対策は大きく2つ

##### 空き家化の予防

空き家化の予防については、桑名市では司法書士会や宅地建物取引業協会など10団体と協定を締結しており空き家に関する相談会などを行っています。相続や解体・撤去など、空き家が発生する前に対策しておくことで、将来に向けた不安の解消にもつながります。ぜひ相談会などを利用して空き家の不安を解決しておきましょう。

##### 発生した空き家の流通・活用

以前からホームページで空き家バンクを開設して運用していますが、大きな効果は得られていません。そこで昨年12月に、空き家の情報だけでなく、空き家を使いたい方の情報も調査することで、空き家の所有者と利用希望者とのマッチングを行う取り組みを始めています。画期的な取り組みではあるものの、行政だけでやり切れる

取り組みではないので、当会派としても、民間との取り組みを強化して有効な仕組みになるよう提言しています。

その他にも、空き家の老朽化の対策として耐震補強への支援なども行っています。また、シルバー人材センターや民間団体など、空き家の訪問点検を行っている団体もありますので、これらを有効に活用しながら適正な空き家の管理にご協力ををお願いします。

## 市民と心の“きずな”をつなぐ会

### 桑名市議会

## 会派

# 絆 だより

vol.3

発行日  
2020.5.21

発行

桑名市議会 会派絆  
中央町2丁目37番地  
TEL.0594-24-1304

### 会派会長 ご挨拶 渡邊 清司

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は会派「絆」に対しまして、格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、世界中を震撼させている「新型コロナウイルス感染症」の心配が続いています。会派一同、1日も早い終息を祈念しています。

令和2年度の事業と予算が賛成多数で可決いたしました。従来から進めている事業や、新しい事業、条例などを議論し決定しました。今後とも住みやすいまちとなるよう努めてまいります。

また、私たちが「絆」所属の議員として常に問題意識を持ち、一般質問という形で議会にて質問をし、市民の皆様の疑問や不審に答える努力をしています。地元や市内で見かけられましたらお声かけいただき、皆様のお声をいただければと思っています。

我が会派「絆」は、令和の新しい時代を迎え、市民ファーストを第一に、豊かさを実感できるまち、そして持続可能なまちとして、限りなく発展することを願い、活動を進めてまいります。

最後に、これから暑い日が続きますので、くれぐれもご自愛くださいませう、会派「絆」一同願っています。



### 会派 絆のメンバー

- |                   |                    |                    |                  |                    |
|-------------------|--------------------|--------------------|------------------|--------------------|
| わたなべ ひとみ<br>渡辺 仁美 | おおた まこと<br>太田 誠    | みなみさわ ゆきみ<br>南澤 幸美 | とみた かおる<br>富田 薫  | もりした ゆきやす<br>森下 幸泰 |
| なりた くみこ<br>成田 久美子 | つじうら ゆうすけ<br>辻内 裕也 | わたなべ きよし<br>渡邊 清司  | くぼた あきこ<br>倉田 明子 | みずたに まゆみ<br>水谷 真幸  |
- ※名前順不同

### 新型コロナウイルス感染症への対応 (5月8日現在)

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、市議会としても国に対して新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書を提出しました。また、各会派で対応策を取りまとめ、市執行部に対し緊急要望を行い、新型コロナウイルス感染症拡大をくいとめるため、市議会として「議員の期末手当、政務活動費の一部の削減」を決定し、削減分の総額1,040万円を地域医療体制の強化に投じるよう要望しました。

市も、市長を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を中心に、対策を講じています。3月定例会最終日の3月23日には、小学校

臨時休校のため子どもの居場所確保として学童保育所等開所経費などの増額が決定されました。4月3日には臨時会が招集され、市内飲食店を支援する桑名市プレミアム付き応援食事券の発行などの緊急経済対策を決定し、5月1日に開催されました臨時会においては、市長など特別職の期末手当の減額、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により離職・廃業された方、もしくは同程度の状況におちいられた方の生活を守る住居確保給付金や、市営住宅の受け入れ準備、就学援助費の増額、市内PCR検査体制の確保など緊急生活支援策を決定しました。

### 小中学校に1人1台タブレット端末を整備

政府は、全国の小中学校のすべての児童・生徒がパソコンやタブレット端末を1人1台の状況で活用できる環境を令和5年度(2023)までに整備する方針を打ち出しました。桑名市においては、以前よりタブレット端末を用いた授業を実践しており、前年度にはすでに各小中学校に約40台のタブレット端末を配備するとともにネットワークなどの環境整備を行うなど準備を進めてきました。そして、今回、政府の方針にいち早く対応し、桑名市内の各小中学校においてタブレット端末を1人1台活用できる環境を整備します。

タブレット端末など先端技術を活用することにより、学習指導要領改訂に伴い今年度より全国的に実施されますプログラミング教育への対応や個々の児童・生徒に応じた学習内容の提供、グループでの意見の交流が促進されるなど大きな教育効果が見込まれます。今後とも児童・生徒の学びが豊かなものになりますように、引き続き取り組んでいきます。





# 活動報告

## 市長の政治姿勢についての代表質疑



わたなべ 清司  
市長  
会派会長  
選挙区  
議員の思い

### 市長の政治姿勢について

Q ①2期目の最終年を迎え、これまでの所見について ②在任期間中の特記すべき施策について

A 7年目を振り返ると、社会情勢の変化に対応すべき情勢が多様化・複雑化する中で、総合計画の中に「桑名の将来を実現するための指針」として、7つのビジョンを掲げ、「まちづくり市民力の発揮」「次世代への責任」を基本視点としてまちづくりを推進してきました。就任時から「全員参加型の市政」を進め、様々な課題に対応し今日を迎えられるのも、市民や議員・職員の皆様が一致して本市のまちづくりを進めてきたこそであり感謝申し上げます。

特に強い思いのある事業は「新病院の建設」であり、桑名地区の急性期医療を担う中核病院としての役割を果たすべく、地域住民を守ってけるよう桑名総合医療センターとともに取り組んでいます。次に「桑名駅周辺の整備」です。桑名駅東西の分断が、自由通路の整備により解消され、より便利に安全に行き来ができるようになります。桑名駅周辺複合施設整備事業、桑名駅西口周辺整備は、本市の玄関口が生まれ変わり、新たな一歩を踏み出す歴史的な年となります。賑わいと活気の拠点として魅力ある街づくりに取り組んでいます。

次に「行財政改革」です。就任時財政は厳しい状況でした。情熱を入れて取り組んだ公民連携を取り入れ、歳入の増加・歳出の削減を図りながら、市民サービスに努め、補助金・手数料・使用料の見直し、財政健全化に努めました。少しずつ明るい兆しが見えてきており、新しいフェーズに差し掛かったと感じています。社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに対応するため、また、本市が持続可能で成長し続けるまちへ変革していくため、継続的に行財政改革に取り組んでいます。

## あなたの想いに応える一般質問と応答



わたなべ 清司  
市長  
議員の思い

### 公立幼稚園の預かり保育を拡充

Q 幼保無償化で公立幼稚園の園児が減少する中で、週5日のうち4日を限度として行われている預かり保育を、毎日午後2時から4時までの預かり保育としませんか？

A 教育委員会として保護者のニーズに応えるため、私立幼稚園協会、公立幼稚園長会をはじめ、関係する皆様と協議を重ね、令和2年度から公立幼稚園の預かり保育を週5日間実施したいと考えています。

### 長島駅周辺の地区計画(特区) 公衆トイレと観光看板の設置

Q 長島駅には、なばなの里へ向かう多くの観光客が訪れていますが、駅前には観光客をおもてなしする公衆トイレと観光看板がないので設置すべきではありませんか？

A 長島駅周辺の既存集落の維持及び周辺地区を含めた活性化を図るべく、地域住民との合意形成に努めていきます。今後は三重県や関係機関と協議して地区計画制度などの活用について調査研究をしていきます。

### 公衆トイレと観光看板の設置

Q なばなの里への路線バスは、すべて近鉄長島駅から運行されていますが、駅前には観光客をおもてなしする公衆トイレと観光看板がないので設置すべきではありませんか？

A 公衆トイレは、設置後の機能維持に大変苦勞する施設でありますので、設置の必要性を精査する必要があります。また観光案内看板については、令和2年度から道路沿線の景観整備と並行して設置を進めていきます。

## 安全で安心なまちづくりを目指して



にしざき 直人  
市長  
議員の思い

### 児童・生徒の安全教育について

Q 学校の役割と家庭との協力について

A 全国的に痛ましい交通事故が後を絶たず、児童生徒が交通事故から自身を守るために実践的な力を育てる安全教育は大変重要であると認識しています。安全教育の現状として、各校の事情に応じて、交通安全意識の高揚と実践力の向上を狙った取り組みを行っています。例えば、通学分団集会における児童生徒通学地域の

危険個所の把握、自転車通学生徒の自転車安全点検、校庭を道路に見立てて実践的に行う交通安全教室、日常生活や部活動等で安全に自転車に乗るための、DVD視聴や講話を通じた意識づけです。家庭との協力で、多くの学校で児童生徒の登校時における危険個所での見守りにご協力いただいています。

保護者側からの見守りの際に気づいた点をメモにして学校に伝えるなど、生徒の安全に特化した学校通信を配布して、内容を共有することで効果を上げています。今後とも、地域の安全上の課題や実際に起きた交通事故を踏まえ、子どもたちが自分自身で日常生活における危険を予測・判断し、一層効果的な安全教育に取り組んでいます。

## 市政をもっと身近に! 未来を考える一般質問



ないた ひさ子  
議員  
議員の思い

### 就学前施設・教育について

Q 無償化で公立幼稚園入園申込減少のなか、支援を必要とする子どもへの対応と認定こども園への移行について市の考えは。

A 幅広い保護者のニーズと個性に応じた教育に努め、国の制度改正などの動向や園児数の推移、施設の状態を踏まえ、引き続き検討していきます。

### 学校教育について

Q スクールハートパートナーやスクールロイヤーの支援体制と、学校プールの授業や施設管理の民間委託について。

A 安心安全な学校生活のため、より専門的で組織的な学校指導体制や法的に相談を受けられる体制を整えています。水泳指導・プールに関しては、より良い教育環境を研究していきます。

### 持続可能な桑名市について

Q つけを回さずこの桑名市を次世代へ引き継ぐべきだと思うが、統合型リゾートIRへの市の所見は。

A 人口減少、超高齢化など社会の構造が大きく変わるなか、今後成長し続ける桑名市を目指すため財源確保は大きな課題です。IR誘致に関し三重県に調査研究を求めており、県の動向を待つ状況です。

## 一人ひとりにやさしい「桑名」をめざして



いけだ あき子  
議員  
議員の思い

### 情報発信について

Q 市民の情報入手はソーシャルメディアが主流となっていますが、市のホームページは検索しにくいと言われており、スマホ対応にもなっていない。リニューアルについてお聞きします。

A 現行ではスマホ、アイコンの外国語翻訳などに対応できていません。外国人、障害者の方にもわかりやすく市民の皆さんが求める機能を持ったホームページリニューアルに向け、調査研究していきます。

### 多胎児支援について

Q 全国的に多胎児は増加の傾向にある反面、行政の支援は遅れていると考えられ、公的支援、地域に対する啓発が求められています。市の取り組みをお尋ねします。

A 多胎児の育児の身体的、精神的負担の大きさ、その過酷さは認識しており、SOSが出せるよう、課題や悩みに寄り添い必要な支援を行っていきます。

## 持続可能な桑名市を目指す一般質問



もりやま 重孝  
議員  
議員の思い

### 地域包括ケアシステムについて

Q 団塊の世代が後期高齢者となる2025年も迫っており、介護保険への一般会計からの繰入れも増加しています。持続可能な介護保険制度への正念場となる次期計画にむけ、現在の介護保険事業計画の進捗は？

A 現在の計画では、高齢者の自立支援と尊厳保持を基本理念とし、介護から自立された方は170名で、自立後も7割の方がその後もサービスを利用せずに生活できています。施設整備については、計画が達成できている施設もありますが、「看護小規模多機能型居宅介護施設」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」は未達成です。

### ICTを活用した今後の教育について

Q 小中学校にタブレットが配備されICTの活用が進められています。校内サーバーの容量が学校の規模に関わらず同じであるなどの設備的課題と、ICTを活用することで授業に積極的に参加できない生徒が出てくるなどのデメリットへの対応は？

A ICTの活用上でデータは、義務教育9年間を通した切れ目ない教育、教員の効率的な教材研究に有効活用しています。保存容量の確保については、個人情報を含まない教材データなどで容量無制限のクラウド活用などの検証を進めています。また、ICTはあくまで学習を支えるツールであり、子どもたちを意欲的にするかどうかが教員の力量によります。教員の授業力向上を支援し、より効果的なICT活用の研究を深め、これからの教育を推進していきます。

## 安全・安心なまちづくりに一歩前進!



つちい ゆたか  
議員  
議員の思い

### 河川の管理について

Q 河川の浚渫経費について、地方債の発行を可能とする制度が創設されました。この制度を活用した河川の管理計画についてお聞きします。

A 令和2年度当初予算は、この地方債を活用し3,000万円の事業を見込んでいます。今後は、県内の要望状況等の情報収集に努め、国への地方債の手続きを進めています。

### 防犯カメラ設置補助金の創設について

Q 市民の防犯活動を補完することを目的に防犯カメラ設置補助金制度が創設されました。この制度の補助対象となる要件についてお聞きします。

A 今回の対象となる主な要件については、市内の自治会が事前に地域の合意形成がなされた上で防犯目的に設置する防犯カメラの機器購入費、工事費に係る費用の一部を助成します。

Q 「リース・レンタル契約についても補助の対象としてほしい」との要望がありますがいかがですか？

A 今後の申請状況等を勘案しながら先進地の事例を調査・研究した上で検討していきたいと思っています。

## 副議長・予算特別委員会委員長・広報広聴委員会委員長 就任



にしざき 直人  
市長  
議員の思い

### 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書提出

現在、市議会の副議長として活動させていただいています。今回の新型コロナウイルスで経済的な被害を受けた方への生活支援策や、企業への経済的支援などを、マスコミ報道だけではなく実際に市民生活への影響を全議員で聞き取り調査しながら、「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書」を市長に対して提出いたしました。また、5月1日に緊急の臨時議会を開催し、

新型コロナウイルスの影響を受けている市民生活を支援するための補正予算などと併せて、個々の議員の期末手当20万円と政務調査費を20万円減額する条例案を議員提出議案として上程し決定しました。議会の役割は市長が決めたことに対して議論し賛成・反対するという役割だけではなく、積極的に具体的な政策を議員のバラバラな意見をまとめ調整し、提案していくこと

が本当の議会改革へつながると考えています。副議長として今回のピンチは議会改革へのチャンスと前向きに考え、この厳しい状況乗り越えたいと思っています。



## 行政の情報化の対応についての一般質問



みずたに 正博  
議員  
議員の思い

### 子どもの権利を守るために

Q 子どもの権利を守る「アドボケート制度(子どもの声を聴き代弁する役割)」を導入しては？

A 現在、民間団体において「子どもの声に耳を傾け伝える役割=アドボケート」を養成する講座を企画するなど、徐々に広がりを見せています。民間団体の方々と意見交換を図りながら、地域全体に浸透するような環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。子どもたちの権利が保障され、地域の中で安心して声を上げられる場所をつくり、子どもたちの夢や希望が実現するまちづくりを今後も進めていきたいと考えています。

### 子どもの権利条約4つの柱

1 生きる権利  
すべての子どもの命が守られること。  
2 育つ権利  
もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療や教育、生活への支援を受け、友達と遊んだりすること。(公益財団法人日本ユニセフ協会ホームページより)  
3 守られる権利  
暴力や搾取、有害な労働などから守られること。  
4 参加する権利  
自由に意見を表したり、団体を作ったりできること。



わたなべ 清司  
市長  
議員の思い